

ラマヌジャン

理工学部 数理科学科 27014664 千種 純一郎

平成 27 年 1 月 7 日



ラマヌジャンとはいったい誰なのか？

1887 年	南インドのタミル・ナードゥ州タンジャーヴール県クンバコナムの極貧のバラモン階級に生まれた [1]
1902 年 15 歳	15 歳のときにジョージ・カーという数学教師が著した『純粋数学要覧』という受験用の数学公式集に出会ったことが彼の方向性を決めた [1]
1906 年 19 歳	奨学金を得てマドラスのパッチャイヤッバル大学に入学したが、数学に没頭するあまり他の科目の授業に出席しなくなり、1906 年 12 月にファインアートの科目の学位認定試験に落第し、次の年度にも再び落第したため、奨学金を打ち切られて学位を得ないまま中途退学に追い込まれた [1]
1906 年 19 歳	1906 年 19 歳 [1]
1913 年 26 歳	イギリスのヒル教授、ベイカー教授、ボブソン教授に研究成果を記した手紙を出す。しかし手紙は黙殺された [1]
1914 年 27 歳	ラマヌジャン渡英 [1]
1920 年 32 歳	病死 [1]

母親の勧めで結婚をし（花嫁はなんと 9 歳！）、インド、マドラスの港湾事務局で職を得るものの、仕事はほとんどせずに、数学の研究に没頭していた。

[2]

1 ちなみに,32歳の野球選手



マートン



赤松



狩野

2 円周率の公式

$$\frac{1}{\pi} = \frac{2\sqrt{2}}{99^2} \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(4n)!(1103 + 26390n)}{(4^n 99^n n!)^2}$$

この公式は円周率の収束が非常に早いものである他にも、タクシー関数、ラマヌジャンの τ 関数が存在する [1]

ご清聴ありがとうございました

参考文献

- [1] wikipedia(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%97%E3%83%8C%E3%83%97%E3%83%84>)
- [2] 難解大学への数学 (<http://d.hatena.ne.jp/gould2007/20070801>)